



2015年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2015年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 2015年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2015年3月期第3四半期の連結業績(2014年4月1日～2014年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年3月期第3四半期	1,436,625	3.4	181,897	9.8	180,248	5.9	116,513	1.0
2014年3月期第3四半期	1,389,514	2.9	165,632	10.1	170,131	16.9	115,337	26.6

(注)四半期包括利益 2015年3月期第3四半期 235,474百万円 (6.5%) 2014年3月期第3四半期 221,155百万円 (62.3%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
2015年3月期第3四半期	円 銭 122.31	円 銭 122.15
2014年3月期第3四半期	円 銭 121.01	円 銭 120.88

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2015年3月期第3四半期	2,900,871	1,596,257	1,526,224	52.6	1,612.32
2014年3月期	2,651,556	1,441,111	1,376,391	51.9	1,443.97

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2014年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2015年3月期	—	29.00	—	—	—
2015年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2015年3月期の連結業績予想(2014年4月1日～2015年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,925,000	△1.5	255,000	6.0	249,000	2.9	157,000	△1.6	164.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2015年3月期3Q	983,130,260 株	2014年3月期	983,130,260 株
② 期末自己株式数	2015年3月期3Q	36,528,855 株	2014年3月期	29,933,292 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2015年3月期3Q	952,635,446 株	2014年3月期3Q	953,113,777 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2015年3月期第3四半期（3カ月）の連結業績（2014年10月1日～2014年12月31日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3カ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年3月期第3四半期	494,073	6.4	56,238	△ 0.8	56,652	△ 1.8	38,527	5.5
2014年3月期第3四半期	464,393	10.6	56,686	44.5	57,670	43.4	36,527	46.2

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2015年3月期第3四半期	40.50	40.44
2014年3月期第3四半期	38.32	38.28

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
（1）四半期連結貸借対照表	P. 6
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 11
（5）セグメント情報	P. 11
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、2016年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2015年3月期第3四半期（2014年4月1日から2014年12月31日まで）の連結売上高は1兆4,366億円（前年同期比3.4%増）となりました。建設機械・車両部門では、一般建設機械の需要が、北米、欧州などの先進国で堅調に推移するとともに、為替が米ドル、ユーロ、人民元に対して円安に進んだことが寄与し、鉱山機械の需要低迷や中国などの新興国の需要減少を補い、売上げは前年同期より増加しました。産業機械他部門では、自動車業界を中心とした設備投資に支えられ、鍛圧機械の販売が堅調に推移したことから、売上げは前年同期より増加しました。

利益につきましては、為替が円安に推移したことに加え、販売価格の改善などに継続的に注力した結果、営業利益は1,818億円（前年同期比9.8%増）、売上高営業利益率は前年同期を0.8ポイント上回る12.7%、税引前四半期純利益は1,802億円（前年同期比5.9%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は1,165億円（前年同期比1.0%増）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 98.5円 1ユーロ = 130.5円 1元 = 16.1円	当第3四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 106.5円 1ユーロ = 140.5円 1元 = 17.2円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	1,389,514	1,436,625	3.4
建設機械・車両	1,250,795	1,285,699	2.8
産業機械他	144,903	155,912	7.6
消去	△ 6,184	△ 4,986	-
セグメント利益	163,709	181,196	10.7
建設機械・車両	164,124	171,829	4.7
産業機械他	1,122	11,660	939.2
消去又は全社	△ 1,537	△ 2,293	-
営業利益	165,632	181,897	9.8
税引前四半期純利益	170,131	180,248	5.9
当社株主に帰属する四半期純利益	115,337	116,513	1.0

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて2014年4月から12月までの9カ月間の累計です。また、セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は1兆2,856億円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は1,718億円（前年同期比4.7%増）となりました。

イノベーションによる成長戦略を担う次世代商品として、日本、北米、欧州で導入したICTブルドーザーおよびICT油圧ショベルは、お客様からの評価も高く、着実に出荷台数を伸ばしました。

また、本年2月1日より、建設現場の課題を解決し、「未来の現場」を実現させていくためのソリューションを開発、提供していくサービス新事業「スマートコンストラクション」を日本から開始します。「スマートコンストラクション」は、建設現場にあるあらゆる情報をICTで繋ぎ、安全で生産性の高い現場を実現するとともに、蓄積されたデータを社会インフラの整備や災害復旧にも役立てていきます。

2014年から順次適用が開始されている新排出ガス規制（米国ではTier4Final）に対応した商品については、北米、欧州、日本市場において導入機種を計9機種まで拡大し、拡販に取り組みました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A]	当第3四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	245,700	244,714	△ 986	△ 0.4
北米	201,589	227,243	25,654	12.7
中南米	183,700	189,805	6,105	3.3
米州	385,289	417,048	31,759	8.2
欧州	85,308	107,300	21,992	25.8
CIS	51,914	42,325	△ 9,589	△ 18.5
欧州・CIS	137,222	149,625	12,403	9.0
中国	112,322	86,886	△ 25,436	△ 22.6
アジア※	135,300	155,589	20,289	15.0
オセアニア	119,301	105,910	△ 13,391	△ 11.2
アジア※・オセアニア	254,601	261,499	6,898	2.7
中近東	36,298	41,969	5,671	15.6
アフリカ	77,424	82,666	5,242	6.8
中近東・アフリカ	113,722	124,635	10,913	9.6
合計	1,248,856	1,284,407	35,551	2.8

※日本および中国を除く。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

建設機械のレンタル業界向けの需要が一巡した影響を受け、建設投資や東日本大震災被災地における復興工事の需要を着実に取り込んだものの、売上げは前年同期並みとなりました。

<米州>

北米では、鉱山向けや、原油価格下落によるエネルギー向けの需要が低迷した一方、住宅建設および道路などのインフラ分野向けに需要が増加した結果、売上げは前年同期を上回りました。

中南米では、鉱山向けの需要は引き続き低調でしたが、為替が円安に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、一部地域の需要が弱含みながら、主要市場のイギリスを中心に需要が伸長した結果、売上げは前年同期を上回りました。

CISでは、通貨下落や金利上昇の影響に加え、金鉱山およびエネルギー向けの需要が依然低迷しており、売上げは前年同期を下回りました。

<中国>

中国政府による住宅ローン規制緩和や利下げなどの景気対策が打たれたものの、需要は依然低調に推移し、売上げは前年同期を下回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、最大市場のインドネシアをはじめタイなどで需要が低迷しましたが、フィリピン、インドなどの需要拡大を取り込むことができたため、売上げは前年同期を上回りました。

オセアニアでは、鉄鉱山向け需要が依然低調に推移し、売上げは前年同期を下回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、主要市場であるトルコの需要低迷や、原油価格下落の影響があるものの、サウジアラビア、カタール、UAEなどの湾岸諸国を中心に需要が堅調に推移し、売上げは前年同期を上回りました。

アフリカでは、南アフリカを中心に鉱山機械の納入が進んだことから、売上げは前年同期を上回りました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、自動車業界を中心とした設備投資に支えられ、鍛圧機械の販売が堅調に推移したことに加え、半導体業界向けの需要が堅調に推移しギガフォトン（株）の売上げが伸長したことから、売上高は1,559億円（前年同期比7.6%増）となりました。セグメント利益は、前年同期に計上したワイヤーソーの在庫に係る損失（76億円）が当四半期は無いことなどにより、前年同期比105億円増の116億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第3四半期連結会計期間末は、主に米ドル、ユーロ、人民元などの為替が前期末に比べ円安となったことにより、総資産は前期末に比べ2,493億円増の2兆9,008億円となりました。有利子負債残高は前期末に比べ660億円増の6,711億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ1,498億円増の1兆5,262億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ0.7ポイント増の52.6%となり、ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の0.37に対して、0.36となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（ネット負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

＜キャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益1,219億円に加え、受取手形及び売掛金の回収などにより、2,325億円の収入（前年同期比435億円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、1,324億円の支出（前年同期比221億円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いに加え、自己株式の取得による支出などにより、679億円の支出（前年同期は625億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ288億円増加し、1,197億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

昨年10月31日に公表しました2015年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2014年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2014年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	90,872		119,741	
定期預金	277		562	
受取手形及び売掛金	617,334		603,919	
たな卸資産	625,077		698,187	
繰延税金及びその他の流動資産	159,872		195,676	
流動資産合計	1,493,432	56.3	1,618,085	55.8
長期売上債権	260,904	9.8	287,486	9.9
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	23,192		28,129	
投資有価証券	67,175		72,112	
その他	2,020		1,987	
投資合計	92,387	3.5	102,228	3.5
有形固定資産	667,347	25.2	744,612	25.7
営業権	36,020	1.4	37,230	1.3
その他の無形固定資産	58,532	2.2	59,324	2.0
繰延税金及びその他の資産	42,934	1.6	51,906	1.8
資産合計	2,651,556	100.0	2,900,871	100.0

区分	前連結会計年度末 (2014年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2014年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	176,515		234,265	
長期債務 －1年以内期限到来分	117,485		116,353	
支払手形及び買掛金	234,231		247,330	
未払法人税等	42,211		24,686	
繰延税金及びその他の流動負債	221,789		242,587	
流動負債合計	792,231	29.9	865,221	29.8
固定負債				
長期債務	311,067		320,508	
退職給付債務	49,428		55,142	
繰延税金及びその他の負債	57,719		63,743	
固定負債合計	418,214	15.8	439,393	15.2
負債合計	1,210,445	45.7	1,304,614	45.0
（純資産の部）				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,984		139,528	
利益剰余金				
利益準備金	39,962		41,073	
その他の剰余金	1,141,751		1,201,829	
その他の包括利益（△損失）累計額	30,035		136,775	
自己株式	△ 42,211		△ 60,851	
株主資本合計	1,376,391	51.9	1,526,224	52.6
非支配持分	64,720	2.4	70,033	2.4
純資産合計	1,441,111	54.3	1,596,257	55.0
負債及び純資産合計	2,651,556	100.0	2,900,871	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（第3四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	1,389,514	100.0	1,436,625	100.0
売上原価	991,363	71.3	1,009,669	70.3
販売費及び一般管理費	234,442	16.9	245,760	17.1
その他の営業収益（△費用）	1,923	0.1	701	0.0
営業利益	165,632	11.9	181,897	12.7
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	3,060	0.2	2,382	0.2
支払利息	△ 6,634	△ 0.5	△ 7,131	△ 0.5
その他（純額）	8,073	0.6	3,100	0.2
合計	4,499	0.3	△ 1,649	△ 0.1
税引前四半期純利益	170,131	12.2	180,248	12.5
法人税等	49,534	3.6	61,211	4.3
持分法投資損益調整前四半期純利益	120,597	8.7	119,037	8.3
持分法投資損益	1,633	0.1	2,957	0.2
四半期純利益	122,230	8.8	121,994	8.5
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	6,893	0.5	5,481	0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	115,337	8.3	116,513	8.1
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	121.01 円		122.31 円	
希薄化後	120.88 円		122.15 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	122,230	121,994
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	89,561	113,032
未実現有価証券評価損益	8,171	3,972
年金債務調整勘定	832	△ 2,223
未実現デリバティブ評価損益	361	△ 1,301
合計	98,925	113,480
四半期包括利益（△損失）	221,155	235,474
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	10,378	12,221
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	210,777	223,253

（第3四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2014年10月 1日 至 2014年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	464,393	100.0	494,073	100.0
売上原価	330,822	71.2	350,600	71.0
販売費及び一般管理費	78,955	17.0	84,966	17.2
その他の営業収益（△費用）	2,070	0.4	△ 2,269	△ 0.5
営業利益	56,686	12.2	56,238	11.4
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	774	0.2	876	0.2
支払利息	△ 2,271	△ 0.5	△ 2,475	△ 0.5
その他（純額）	2,481	0.5	2,013	0.4
合計	984	0.2	414	0.1
税引前四半期純利益	57,670	12.4	56,652	11.5
法人税等	19,414	4.2	17,200	3.5
持分法投資損益調整前四半期純利益	38,256	8.2	39,452	8.0
持分法投資損益	689	0.1	1,089	0.2
四半期純利益	38,945	8.4	40,541	8.2
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	2,418	0.5	2,014	0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	36,527	7.9	38,527	7.8
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	38.32 円		40.50 円	
希薄化後	38.28 円		40.44 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2013年10月 1日 至 2013年12月31日	当第3四半期連結会計期間 自 2014年10月 1日 至 2014年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	38,945	40,541
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	66,293	73,635
未実現有価証券評価損益	4,378	3,314
年金債務調整勘定	330	376
未実現デリバティブ評価損益	△ 423	△ 228
合計	70,578	77,097
四半期包括利益（△損失）	109,523	117,638
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	6,060	6,499
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	103,463	111,139

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期 連結累計期間 自 2013年 4月 1日 至 2013年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	122,230	121,994
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	64,028	74,084
法人税等繰延分	6,588	4,181
投資有価証券売却損益及び減損	△ 1,605	△ 935
有形固定資産売却損益	△ 4,329	△ 4,547
固定資産廃却損	2,271	2,195
未払退職金及び退職給付債務の増減	1,645	731
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	61,729	67,831
たな卸資産の増減	△ 36,017	△ 12,202
支払手形及び買掛金の増減	△ 1,570	5,047
未払法人税等の増減	△ 8,579	△ 17,393
その他（純額）	△ 17,397	△ 8,482
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	188,994	232,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 130,987	△ 147,316
固定資産の売却	19,776	16,063
売却可能投資有価証券等の売却	4,332	1,876
売却可能投資有価証券等の購入	△ 35	△ 11
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△ 4,539	△ 3,081
貸付金の回収	225	169
貸付金の貸付	△ 16	△ 2
定期預金の増減（純額）	860	△ 197
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 110,384	△ 132,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	153,316	200,026
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 167,531	△ 196,029
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	10,870	23,693
キャピタルリース債務の減少	△ 2,552	△ 3,503
自己株式の売却及び取得（純額）	△ 26	△ 18,635
配当金支払	△ 50,539	△ 55,324
その他（純額）	△ 6,068	△ 18,136
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 62,530	△ 67,908
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	1,190	△ 3,228
現金及び現金同等物純増減額	17,270	28,869
現金及び現金同等物期首残高	93,620	90,872
現金及び現金同等物四半期末残高	110,890	119,741

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2013年4月1日 至 2013年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	1,248,856	140,658	1,389,514	—	1,389,514
（2）セグメント間の内部売上高	1,939	4,245	6,184	△ 6,184	—
計	1,250,795	144,903	1,395,698	△ 6,184	1,389,514
セグメント利益	164,124	1,122	165,246	△ 1,537	163,709

当第3四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	1,284,407	152,218	1,436,625	—	1,436,625
（2）セグメント間の内部売上高	1,292	3,694	4,986	△ 4,986	—
計	1,285,699	155,912	1,441,611	△ 4,986	1,436,625
セグメント利益	171,829	11,660	183,489	△ 2,293	181,196

前第3四半期連結会計期間（自 2013年10月1日 至 2013年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	420,081	44,312	464,393	—	464,393
（2）セグメント間の内部売上高	643	992	1,635	△ 1,635	—
計	420,724	45,304	466,028	△ 1,635	464,393
セグメント利益	58,331	△ 3,686	54,645	△ 29	54,616

当第3四半期連結会計期間（自 2014年10月1日 至 2014年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	441,517	52,556	494,073	—	494,073
（2）セグメント間の内部売上高	521	944	1,465	△ 1,465	—
計	442,038	53,500	495,538	△ 1,465	494,073
セグメント利益	55,077	3,851	58,928	△ 421	58,507

（注） 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

- a. 建設機械・車両セグメント
掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連
 - b. 産業機械他セグメント
鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他
2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2013年4月1日 至 2013年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結累計期間	310,145	408,234	143,417	130,703	283,272	113,743	1,389,514
当第3四半期連結累計期間	308,372	453,562	157,141	103,790	289,079	124,681	1,436,625

前第3四半期連結会計期間（自 2013年10月1日 至 2013年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 2014年10月1日 至 2014年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結会計期間	116,537	135,376	47,238	42,981	84,994	37,267	464,393
当第3四半期連結会計期間	112,330	162,992	50,125	33,836	95,064	39,726	494,073

※ 日本及び中国を除く。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2014年11月14日開催の取締役会決議に基づき、資本効率の向上と株主への利益還元を図るため、2014年11月17日から2014年12月31日までの間に6,903,200株、19,066百万円の自己株式を市場買付けにより取得しました。